

平成 25 年度 学校関係者評価書

学校名	和歌山市立今福小学校
作成日	平成 26 年 2 月 21 日

1 教育目標

- ・適切です。
- ・児童の学習活動が十分に機能するためにはやはり基本的な生活習慣の確立と児童の精神的な安定が必要条件になると思います。本校においてはそういった観点で確立され、また、実践されており学習面全般においての期待できると思います。
- ・挨拶は社会に出て最も大切な事と考えます。小学校でしっかり身につけてほしいです。

2 学校の自己評価についてのご意見

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標	・地域への情報発信により、連携を密に心がけてください。	・心の温かい、相手の気持ちになれる子どもの育成を望みます。 ・校内が落ち着いていると思います。	・基礎学力の向上の取組に努力されています。

取組の状況に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への積極的な参加により、地域住民との交流もあり、地域に近い学校としての感をもつようになっている。 ・学校の実態についてより具体的に情報を発信し、くださることに感謝しています。 ・登下校の見回りや防災について密接な連携体制の必要性を感じます。よろしく願います。 ・積極的に取り組んでいます。 ・以前、学校の敷居が高く感じられることがありましたが、最近は入りやすい学校になりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもらしい様子も随所に見受けられ、学習時と休憩時とのメリハリが適当に営まれているように感じられた。 ・ゆたかな心は温かい家庭にはぐくまれるものです。子どもたちが情操の欠くことのない家庭づくりに学校や地域も努力すべきと考えます。 ・学年を超えて情報を共有していて、よいことだと思えます。 ・孤立しているような子どもはあまり見られないと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校長のリーダーシップのもと、それぞれの教室では落ち着いた先生方の指導に、よい授業等がなされており、児童にその成果が反映されているように感じる。 ・毎日の習慣はとても大切です。体力、読書、計算など続けて生活のリズムを作ると、自然と子どもたちの力になると思います。 ・体験学習や机の配置を工夫するなど取り組みが工夫されている。 ・読書の機会を増やし、好きな本を見つけられるようになると思います。 ・板書の誤字等は気をつけてほしい。
(評価結果) 取組の成果と課題に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だより「いまふく」にはいつも日頃の児童の様子や目指す目標等が適切に示されており、学校の活動等が身近に感じられる。また、運動会や今福まつりにおいても地域の人々との交流の場ともなっており地域に開かれた学校の印象を与えている。 ・少年補導をはじめとして地区の集会等にも積極的に参加されていてよかった。 ・評議委員や民生委員以外の地域の人はなかなか連携するのは難しいと思いますが、大切な課題なので取り組みをよろしく願いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民の見守り運動により子どもたちと住民の心の通う姿もみかけるようになってきている。 ・公園には多くの子どもたちが集まりますが、楽しく遊びケンカはしていません。言葉はすこし乱暴です。 ・学力以外で競争する事が時には必要では。そこに思いやりや、気遣いが生まれると思えます。 ・横のつながりだけでなく、縦のつながり(縦割り活動)を今後も充実してください。 ・普段、学校へ訪問したときに、「こんにちは」と挨拶され、とても気持ちいい思いをしました。 ・低学年では元気よく、学年が上がるにつれ静かになっていくように思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よい取組であり、継続を期待する。また、家庭教育との連携をより一層望みます。 ・全国学力学習状況調査では全国レベルを上回り取り組みの成果が出ていて、今後を期待します。 ・家庭において、学校での学習について問いかけやフォローできる体制が必要だと思います。 ・学校まかせではなく家庭での学習のしつけは重要。今後も学校と連携して進める必要がある。
改善方法に向けての意見	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が地域参加を心がけ、さらに地域と連携を図られたい。 ・防災ずきんは吹上小の児童が訓練で使用していたことを見ていたので、気になっていました。 ・地域との連携をより深め、学校の安心安全に気をつけるよう一層努めていただきたい。不審者情報や防災意識を共有する事を今後も続けていく必要がある。 ・学校が開かれた状態でも一部保護者がそうでない場合が課題だと思います。 ・気になる家庭環境の子どもに対する問題については、学校も地域も今ひとつ踏み込めない点があり今後の課題だと思います。 ・地域各種団体は要請があれば協力を惜しまない体制にあります。もっと活用してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り運動に参加している住民と子どもたちとの、更なる心の交流が期待できるよう、今後の取組をお願いしたい。 ・あいさつ、返事、お礼は本来家庭でのしつけですがなかなかできていない現状があります。 ・挨拶、返事、お礼が言えないのは家庭教育に問題があるのでしょうか。家庭教育の大切さを知らせる工夫が必要であると思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の方々の指導に期待し、今後ともより高い目標を目指して進めていただきたい。 ・準備が大変ですが、実験など体験した事はしっかり覚えていてるので、できるだけ時間を使って勉強して欲しいです。 ・学力と家庭生活は密接な関係にあると思うが、学校が踏み込むのは難しいと思う。保護者との連絡を密にする必要があるが拒否される事も多く、今後の課題と思われる。

4 その他のご意見

- ・毎朝、校長先生の挨拶指導の音が地域に響き学校が地域に溶け込んでいるように感じられます。
- ・校長先生はじめ教職員が子どもたちの名前を覚え、声をかけていることは、今後も続けてほしいと思います。子どもたちは自分を見守ってくれていると安心します。
- ・学校のきめ細かな指導体制と配慮が感じられます。保護者や児童がその期待に応え、少しでも良い方向に成果が上がることを期待します。